

新

1,2年生。ラストがんばってね。

令和元年度 愛知教育大学附属岡崎中学校

ほぼ日チキ長寛いました。今年

読書だより こそちやをて使ふ大人になら

モリモリ書店

第69話 R02.02.17(月)

「きっと誰かがあなたの
希望になる。」

★今回、紹介する本は、『希望が死んだ夜に』（著/天祢涼、出版/文春文庫）です。

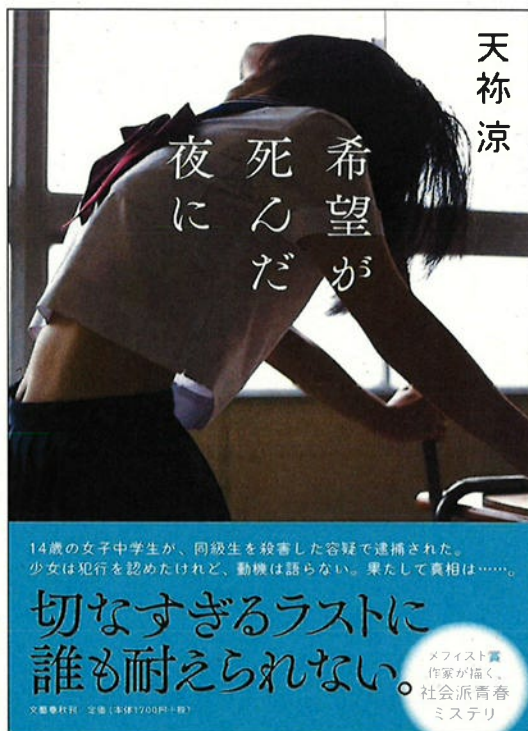
この本は、本屋大賞2019の「発掘本」でも話題になった社会派青春ミステリ小説。

14歳の女子中学生が同級生を殺害した容疑で逮捕されるところから物語は始まります。ただ容疑は認めるものの、動機については一切語らない。

そして、その事件の解明に向けて、出世を期待される男性刑事と、変わり者扱いされている女性刑事がコンビを組み、動き出します。なぜ少女は動機を語らないのか。真実はいったい何なのか。

「貧困」をテーマにしながら、二人の少女の青春

物語でもあり、一風変わった刑事コンビの謎解き物語でもあるところが魅力。さまざまな要素が伏線となり、ラスト1行に向かっていきます。「希望」とは何か。読み終わった後に、切なさでいっぱいになると同時に、ふっと顔をあげたくなる1冊です。



天祢涼

次の本屋大賞つぎは、非常にならなくてね。

誰かの困りを
きちんと「想像」
してあげることが
大事なんだよ。★

「私は、君を助けたい。」
(p.169)★

「それでも、誰かの
苦境に思いを
はせることが
できればー」
(p.303)★

タイトルがまた、いろいろ
をててせうね
んですよ。

イロジン

★